

【「カジノ 餌」で検索して、マイクロソフト検索サイトで出てきたもの】

◆Copilot Search

大阪 IR カジノ計画では、年間約 700 億円が入場者誘引や特典として使われる「餌」として想定されています。

「餌」の具体的な内容

大阪 IR カジノでは、入場者を増やすために様々な形で資金が使われることが計画されています。例えば、賭け金に応じたポイント付与、宿泊施設の割引、土産物の提供、入場料に応じたチップの付与などが挙げられます。これらは、カジノの粗収益から差し引かれる「コンプ」と呼ばれる費用に相当し、年間約 700 億円規模で運用される見込みです（松田氏の行

政文書公開請求より）  vosakaf.net。

収益構造との関係

大阪 IR の年間入場者数は約 1,600 万人（日本人 1,070 万人）を想定しており、粗利は約 4,900 億円、カジノ収益として表に出るのは約 4,200 億円です。この差額が「集客用の餌」として使われると考えられています。つまり、表面上の利益だけではなく、入場者誘引やリ

ピーター確保のための費用が含まれているのです  vosakaf.net+1。

背景と課題

この「餌」の存在は、カジノ依存症のリスクや地域経済への影響とも関連しています。大阪 IR は単なるカジノではなく、ホテルや国際会議場、エンターテインメント施設を含む統合型リゾート（IR）として設計されており、集客力を高めるための資金投入は不可欠とされています。しかし、実際に日本人が高額入場料（6,000 円）を支払って繰り返し訪れるかは疑問視されており、計画通りの集客が可能かどうかは不透明です www.moneypost.jp+1。

まとめ

大阪 IR カジノにおける「餌」とは、**入場者誘引や特典に充てられる資金**を指し、年間約 700 億円規模で運用される予定です。これはカジノ収益の一部として計上され、集客やリピーター確保のために使われるものであり、経済効果や依存症リスクの観点からも注目されてい

ます  vosakaf.net+2。